

「大湫新明・白山神社の棟札等」調査記録

■日時：3月7日（水）13時30分から15時30分まで

■場所：大湫町

■出席者：青木本吉、安部利美、加知久宗、可知正巳、桑原研二、小木曾建夫、柴田明芳、山田和洋、

欠席者：小栗幸江、三戸憲和

事務局：砂田係長、安藤主事

神社関係者：吉野氏（氏子総代）

■調査結果

【神明神社の棟札】

○祭礼に係る記載の有無を確認するため、本殿の中に保管されていた棟札を取り出して記載されている文字を確認し、写真撮影を行った。

○棟札は、慶長13年（1608）のものを最古、昭和60年（1985）のものを最新として、合計 枚が確認されたが、祭礼について記載された棟札は確認されなかった。

【白山神社の棟札】

○祭礼に係る記載の有無を確認するため、本殿の中に保管されていた棟札を取り出して記載されている文字を確認し、写真撮影を行った。

○棟札は、慶長17年（1612）のものを最古、昭和60年（1985）のものを最新として、合計32枚が確認されたが、祭礼について記載された棟札は確認されなかった。



調査の様子（神明神社）



調査の様子（白山神社）

【白山神社の御葉付イチョウ】

- 平成30年1月18日付けで、瑞浪市大湫町区長会長から文化財指定申請書が提出されたため、現地にて確認を行った。
- 樹木の観察や幹周等の計測を実施した。樹高は計測することができなかったが、概ね申請書に添付された計測資料と同じ値が得られた。
- 銀杏(実)がコミュニティセンターに保管されているとのことであったため、計測作業終了後、コミュニティセンターにおいて銀杏(実)を実見した。



調査の様子

■今後の方針

【大湫神明・白山神社例祭】

- 残念ながら両神社の棟札には祭礼について記載されていなかったため、引き続き古文書の調査を実施する。
- 山車の改変状況等を確認するための現地調査を実施する。
- 上記の調査を実施したうえで、文化財指定について審議を行う。

【白山神社の御葉付イチョウ】

- 他の市町村における御葉付イチョウの文化財指定状況について調査する(事務局が調査し、審議会にて報告する)。
- 必要に応じて上記以外の調査を実施したうえで、文化財指定について審議を行う。